

科学読み物を要約し、「生き物のなぞ」をしようかいしよう

中心学習材 「ウナギのなぞを追って」(光村図書 4 年下)

補助学習材 「ノラネコの研究」(福音館書店) 「ゾウの長い鼻には、おどろきのわけがある！」(くもん出版)
「ハリセンボンがふくらんだ」(あかね書房) 「モグラのもんだいモグラのもんく」(小峰書店) 他

〈育てたい主となる能力〉

◎目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。
(読工)

〈単元を貫く言語活動〉

◎科学読み物を要約し「生き物のなぞ BOOK」を作る。

1 子どもと単元について

子どもたちは、「読むこと」の学習として、「動いて、考えて、また動く」では、自分の考えを強く読み手に印象付けるための説明的文章の構成を理解したり、段落相互の関係や事実と意見との関係を考えて読み取ったりすることを、「アップとルーズで伝える」では、視点による文章表現の違いに気付き、対比することで段落の関係を考えたり、文章全体における段落の役割について考えたりすることを学んできた。これらの学習を通して子どもたちは、段落相互の関係や事実と意見との関係について考えながら読む力を高めてきている。日常においては、読書好きな子どもが多く、進んで図書室に行ったり学級文庫やブックトラックの本を借りて読んだりしている。しかし、学級の傾向として、読む本のジャンルに偏りがあり、「読書生活について考えよう」の学習でアンケート調査をしたところ、好きなジャンルとして物語を好んで借りる児童は多かったが、科学読み物など物語以外のジャンルの本を借りる児童は少なく、読書ジャンルの偏りに対して子どもたちも問題意識をもっている。

中心学習材「ウナギのなぞを追って」は、長期にわたってウナギの産卵場所を探る調査報告文である。身近な食材であるウナギの生態には実は多くの謎があり、それらを解明するために長い時間をかけて地道に調査する科学者たちの姿勢や、仮説を立てて検証していく科学的な調査研究の方法、当たり前の日常に疑問をもって研究することのおもしろさなど、多様な興味に答えることのできる文章である。したがって、読み手の様々な目的や必要に応じた読み取りに適した学習材であり、この学習を通して子どもたちに科学読み物に対する興味・関心を高めることができると考える。

指導に当たっては、次の二つを大切にする。一つ目は、感想の中心に沿った要約の仕方を理解することである。そのために、まず、最も興味深く感じたところを自分の「感想の中心」とし、その根拠となる語や文を見付ける。次に、見付けた語や文を「大事なこと」とし、それらを指示語や接続語を使って短い文にまとめていく。このような段階を示すことで要約の仕方を理解できるものと考え。二つ目は、進んで要約しようとする態度を養うことである。そのために、要約した文章を「生き物のなぞ BOOK」として紹介文の形にまとめ、完成した紹介文を友達と読み合い感想を交流する。最後に、「4 学年読書祭り」で、全校に科学読み物のおもしろさを発信するというゴールを示す。これらの学習を通して、更に子どもたちの学習への意欲が高まるものと考え。

2 単元の指導目標

○進んで科学読み物を要約し、友達に紹介しようとしている。【関心・意欲・態度】

○最も興味深く感じたところを中心に、文章の中心となる大事な事柄や感想をもつようになった理由に注意しながら読み、要約することができる。【読むこと エ】

○目的に応じて、事実と意見の関係をとらえ、根拠となる語や文を考えながら読むことができる。【読むこと イ】

○指示語や接続語の果たす役割を理解することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ク)】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○科学読み物に興味をもち、進んで要約しようとしている。	◎「生き物のなぞ」を紹介するために、感想の中心に沿って、大事なことを落とさずに短い文にまとめている。 ○事実と意見の関係をとらえながら、感想の中心の根拠となる語や文を見付けている。	○指示語や接続語の役割を理解し、文脈に沿って使うことができる。

4 学習指導計画（全11時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】

第1次
単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ
（1時間）

- ① これまでの読書経験を振り返り、科学読み物を要約して「生き物のなぜBOOK」にまとめ、友達に本の紹介をするという単元のめあてを知り、学習計画を立てる。

<評価>

- ① 科学読み物を要約し、「生き物のなぜBOOK」を作って紹介するというねらいを理解し、学習の見通しをもとうとしている。 《発言・ワークシート》

第2次
「ウナギのなぜを追って」を読み、自分が最も興味深く感じたところを中心に要約する。
（6時間）

並
行
読
書

- ② 最も興味深く感じたところを感想の中心として友達と交流する。
③ 感想の中心に沿って文章全体を読み、「大事なこと」となる記述を見付ける。
④ 感想の中心と根拠を友達と交流し、読みの幅を広げる。
⑤ 感想の中心に沿った要約の仕方を学ぶ。
⑥⑦ 感想の中心に沿って要約し、紹介文にまとめる。

<評価>

- ② 感想の中心を意識して読み、友達と交流している。 《発言・ワークシート》
③ 事実と意見の関係に気を付けながら、自分の感想の中心の根拠となる語や文を見付け、大事なことを書き出している。 《発言・付箋・ワークシート》
④ 感想の中心とその根拠となる記述を交流し、読みの幅を広げている。 《発言・ワークシート》
⑤ 感想の中心となる語や文に着目しながら要約する方法を理解している。 《発言・ワークシート》
⑥⑦ 感想を中心に要約し、紹介文にまとめている。 《発言・ワークシート》

第3次
自分が選んだ科学読み物を要約して紹介文に書き、「生き物のなぜBOOK」にまとめる。
（3時間）

- ⑧ 自分が選んだ科学読み物の、最も興味深く感じたところを感想の中心にして、「大事なこと」となる記述を見付ける。
⑨ 自分が選んだ科学読み物を感想の中心に沿って要約する。（本時）
⑩ 紹介文にまとめ、「生き物のなぜBOOK」を仕上げる。

<評価>

- ⑧ 自分が選んだ科学読み物の、感想の中心の根拠となる記述を見付けている。 《発言・付箋・ワークシート》
⑨ 自分が選んだ科学読み物の、最も興味深く感じたところを感想の中心とし要約している。 《発言・ワークシート》
⑩ 紹介文にまとめ見直しをし、「生き物のなぜBOOK」を仕上げている。 《発言・ワークシート》

第2次で学んだ、要約するための目的的な読みの知識・技能を生かして要約し、紹介文を書く。

第4次
「生き物のなぜBOOK」を読んで交流し、学習の振り返りをする。（1時間）

- ⑪ 「生き物のなぜBOOK」を読んで交流し、単元の学習を振り返る。

<評価>

- ⑪ 「生き物のなぜBOOK」を読んで交流し、単元を通して学んだことや身に付けたことについて振り返っている。 《発言・ワークシート》

学級活動
「4学年読書祭り」

【国語科活用場面】

- 文章の書かれ方や文章構成に着目して、要旨をとらえる。（「5年見立てる/生き物は円柱形」）

【他教科等・日常活用場面】

- 要約して自分の考えを述べる。（発言）

5 本時の指導

(1) ねらい

自分が選んだ科学読み物を，自分の感想の中心に沿って，根拠となる語や文を用いて要約することができる。

(2) 基礎的・基本的な知識・技能を活用する言語活動

前時までの学習では，「ウナギのなぞを追って」を読み，自分の感想の中心に沿って根拠となる語や文を見付け，指示語や接続語を使って要約することで，感想の中心に沿った要約の仕方を身に付けてきた。

本時では，その知識・技能を生かし，自分が選んだ科学読み物を感想の中心に沿って要約する。

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導の手立てと評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 自分の感想の中心にそって「生き物のなぞ」を要約しよう。 </div>		<p>○学習計画に沿って学習課題の確認を行い単元における本時の位置付けを確かめる。</p>
<p>2 学習課題を解決する。</p> <p>(1) 紹介文の組立てと要約の仕方を確認する。</p> <p>(2) 大事なことを用いて要約する。</p> <p>(3) 要約した文を読み合う。</p>	<p>○紹介文の組み立て</p> <p>はじめ…なんの話か (概要 3 段落程度)</p> <p>1 段落…問いかけの文 2 段落…感想の中心 3 段落…筆者・研究者の紹介</p> <p>中…要約 おわり…感想</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○要約の仕方</p> <p>①感想の中心を見付ける。 ②大事なことを見付ける。 ③大事なことに付箋を貼り書き出す。 ④指示語や接続語を使って語や文をつなぐ。</p> </div>	<p>○既習事項についてまとめた掲示物を見直し，要約の仕方を確かめることができるようにする。</p> <p>○全文は 300～400 字，要約文は 200～300 字という見通しを子どもにもたせる。</p> <p>○前時に「大事なこと」を書き出した表や本に貼った付箋を基に，紹介文の組立てに沿って要約することができるようにする。</p> <p>○書くのに時間がかかる子どもには，はじめの書き出しのヒントを与え，要約に時間を取れるようにする。</p> <p>○同じ本を選んだ子どもたちで読み合いをし，感想を交流したり，アドバイスしたりできるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈評価〉感想の中心の根拠となる語や文を用いて要約している。</p> <p style="text-align: right;">【紹介文】</p> </div>
<p>3 学習を振り返る。</p> <p>(1) 自己評価する。</p> <p>(2) 振り返りを交流する。</p> <p>4 次時の学習内容を確認する。</p>		<p>○この学習を通して，身に付けた力が実感できるように，「感想の中心に沿って要約することができたか」を観点として振り返ることができるようにする。</p> <p>○本時のねらいにかかわる評価をしている子を意図的に指名し，学習の価値付けを図る。</p> <p>○次時は，要約を見直して紹介文にまとめ，「生き物のなぞ BOOK」を仕上げることを確かめ，学習の見通しをもたせる。</p>